

治療審査委員会申請書類

患者ID : _____

患者氏名				生年月日			年齢			性別		
診療科			区分	☐ 循環器病棟 ☐ 外来		申請医師名						
診断名							Stage			Performance Status		
告知内容												
治療方法	プロトコール名		エピルビン肝動注療法							告知Grade		
投与計画	身長		cm		体重		kg		体表面積		m ²	
	血清クレアチニン				ml/dl		Cockcroft-Gault		GFR(糸球体濾過率)		性別無し ml/min	
											※女性は0.85を掛けています	
	エピルビン				mg(60mg/m ²)							
	末梢 ① グラニセトロン3mgバック + デキサート(6.6mg) 1.5V [9.9mg] 200ml/hr											
	動注 ② エピルビン注 _____ mg (60mg/m ²) + 生食20ml 緩徐に動脈内投与											
	内服											
	デカドロン(4) 2T 分2 朝昼内服 2日目から4日目まで内服											
	アプレピタントCP125mg エピルビン投与1時間～1時間30分前に内服											
	アプレピタントCP80mg 1日1回投与 朝食後 2日目から3日目まで内服											
上記を3～4週間休薬(3～4クール)												
投与開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日												
併用薬の確認	併用禁忌：アドリアマイシン500mg/m ² 、タウロビシン25mg/Kg 以上投与されている場合は投与禁忌											
B型肝炎check	HBs抗原 () ⇒ HBc抗体 (), HBs抗体 () ⇒ HBV核酸定量 0.9L.IU/ml ()											
予測される副作用と対処方針	悪心・嘔吐 制吐剤((5-HT3拮抗薬内服、プリンペラン、ドンペリドンなど)を使用 骨髄抑制 中止、減量、休薬をする。G-CSFの使用も考慮する 心毒性 エピルビン総投与量が900mg/m ² を超えるとリスク増大											
備考 注入ポンプ点 滴回路、フィル ター指定等	エピルビンは動注リザーバーより投与 エピルビン肝動注は研究途上でエビデンス不十分であることに留意											
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可											

担当委員署名 _____

許可決定日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 有効期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日